

向笠里水環境保全の会

市町村名 磐田市

地域	向笠地区(笠梅・向笠新屋・向笠竹之内・篠原・岩井)一円		代表者名	青島一彦	活動期間	平成20～24年度	
協定面積 (ha)	水田	135.45	対象面積 (ha)	水田	135.45	対象資源	数量
	畑	53.65		畑	53.65	農用地	189.1ha
	草地			草地		開水路	39.8km
	計	189.10		計	189.10	パイプライン	
主要作物	水稻・茶		参加団体	農業者 非農業者 部農会 自治会 子供会 公民館 磐田用水東部土地改良区		ため池	
構成員	農業者	非農業者	計			農道	24.9km
人数	17	18	35			事業費(年)	7,462,000
主な活動内容	<p>(基礎部分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地等の発生状況の把握 ・施設の点検 ・共同作業計画の策定 ・草刈り ・配水操作 他 		<p>(農地・水向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の機能診断 ・診断結果の記録管理 ・年度活動計画の策定 ・きめ細やかな雑草対策 ・通水試験の実施 ・ゲート類の保守管理の徹底 他 		<p>(農村環境向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観形成、生活環境保全計画の策定 ・広報活動 ・地域住民等との交流活動 ・農用地を活用した景観に配慮した作付け ・施設等の定期的な巡回点検、清掃 		
地域の概要	<p>磐田原台地東側の二級河川敷地川の左右岸に広がる約190haの区画整理された水田と用排水が分離された水路整備の進んだ水田地帯である。しかし、地区内の農家は大規模農家による農業経営がなされてきているが、末端施設である用排水路の管理の粗放化により、機能が低下する状況となってきている。</p>						
目指すべき方向	<p>地域住民参加の事業を行い地元の農業や農村環境への関心を持ってもらうように広報活動をしていき、豊かな農村環境を守り、農業の振興を図っていきたい。</p>		<p>遊休農地発生防止のための保全管理</p>				
活動の感想	<p>集落が5つあり、話し合いの日程調整に苦労した。保全の会として目指すべき方向性等の話し合いが十分されないままに時間が経過してしまい、結果、初年度はハード事業で終わってしまった状況である。</p>						
課題	<p>向笠里水環境保全の会として一つに成りえなかった感がある。話し合いの場が無かったことも成果が上がらなかった要因の一つと考えられる。そのため、地域住民の事業に対する理解が少なかったと思う。今後は話し合いの場を増やし、集落の声を聞きながら、保全の会としての事業を進めたい。</p>		<p>破損施設の改修</p>				
抱負・コメント	<p>向笠里水環境保全の会として、地区全体の農業の振興と農村環境の保全に努めていきたい。そのためには、地域住民に理解をいただくことが大切であると考え、事業のPRに力を入れ、地域住民の参加協力を求めていきたい。</p>						
			<p>地域住民との交流活動</p>				